メタリストを応援するネットワーク情報誌

Sheet Metal シートメタル 九州 KYUSHU

2020 春号
第56号

CONTENTS

特　集
運送業の現状について …… 2
企業探訪
第 52 回　共栄製作所 …… 4
工業会からのお知らせ
板金図面検定試験合格者発表 …… 5
石川県工場視察研修会 …… 7
プロジェクト管理技法の向上 …… 10
問題解決（QC不良削減）工場見学 … 11
パワーアップ研修会成果発表会 … 12
モノづくりフェア報告 …… 13
企業価値をあげる財務管理 …… 14
板金いろは研修工場見学 …… 15
親睦ゴルフ …… 16
ジョイントミーティング報告 …… 17
問題解決（QC不良削減）成果発表会 … 18
賀詞交歓会 …… 20
今後の予定 …… 21
編集後記 …… 22

特集　運送業の現状について

早いもので令和も２年目に突入、今年ももうすぐ３月になろうかとしております。年度末が近付きつつある中、人手不足に働き方改革が追い打ちをかける今日この頃、製品を運搬したいけどなかなかトラックがつかまらないなんてこともよくありませんか？そこでいつもお世話になっている運輸会社の代表にお話を伺いました。

増加する仕事量に対して人が集まらず、せっかく募集があっても定着率が悪いのはどの業界も共通の悩みですが、最近の若い人は自家用車を持っていないことが多く、早朝・深夜の配送時の公共交通機関の動いていない時間帯の出勤をどうするのか、またヤマト運輸や佐川急便の問題、相次ぐ長距離大型バスの事故に、飲酒運転も頻繁に聞く中で出発前のアルコールチェックは必須ですが、早朝・深夜の配送の際にチェックする人が必要になることや、高騰する燃料代に加えて待機時間料等かかった分の請求が高コストとなり、なかなか料金に反映出来ず、最近は大雨・大雪・台風等大きな災害が多いのも頭の痛いところです。なお契約の際には運賃と料金の区分と付帯業務の内容が明確化されています。

最近は大型・中型・準中型・普通と運転免許がどんどん細分化されて行き、大型車には道路によっては進入禁止の規制になっている箇所もありますが、その他にも法律による厳しい締め付けが

あります。過積載は絶対にしてはいけませんが、排気ガスを抑制するための装置をトラックに装備する必要があり、その装置の分だけ重くなり、特に４ｔクラスのトラックは、４ｔトラックに４ｔ分の荷物を積むことが出来ず、４ｔユニックに至っては２ｔぐらいしか積めなくなっています。自己判断せずに運輸会社に確認することが間違いなさそうです。また早朝・深夜・長距離といった配送には途中に休憩が必要ですが、シフトによっては勤務時間のしばりもあり、更に休暇や休憩（会社の休憩室ではダメ）が必要となって来ます。そのため次のシフトを考えるとお客さんの指定がなくても自腹で高速道路を利用せざるを得ない場合も出て来ます。事故を起こせばもちろん点数制で厳しい罰則が待っています。郵便局ですら土曜の配達をやめようとしている中、お客さんの要望で様々な時間帯に配送しなければならない難しさがあります。またどんなに丁寧に取扱いしていても時には荷が破損することもありますが、その際には保険をつかうとしても弁償等デリケートな対応が求められます。

事件や事故があると何故か元トラック運転手とか不必要に名前があげられることが多いのですが、今日も安全運転で頑張るトラック運送事業者の方々に、荷待ち時間の発生、滅茶苦茶な到着時間の指示、天災等やむを得ない遅延に対してペナルティを課すことをせず、荷物の重量オーバー等がない様に荷主として心掛けましょう。

〈白水 靖久　㈱新栄製作所〉

企業探訪

第52回 共栄製作所

今回の訪問先である、㈲共栄電機、㈱共栄製作所、㈱日本トライは配電盤製造をメインとするグループ会社で、部門ごとに３社に分かれています。

㈲共栄電機は取引先からの仕事の受注、設計、組立等や他２社に仕事の発注を行う会社。㈱共栄製作所は板金加工、㈱日本トライは塗装を、㈲共栄電機から仕事を受注する形で行っています。

㈲共栄電機は昭和46年に廣勝美氏（現会長）が配電盤組立を扱う事業を個人創業されました。その後、２社目となる㈱共栄製作所を昭和56年に設立し、板金加工を開始。それまでメーカーから支給されていた配電盤の筐体部分の自社での製作が可能となりました。

現社長の廣道夫氏は平成28年に社長就任。３社目となる㈱日本トライを設立され、配電盤の塗装事業を平成29年より開始されました。

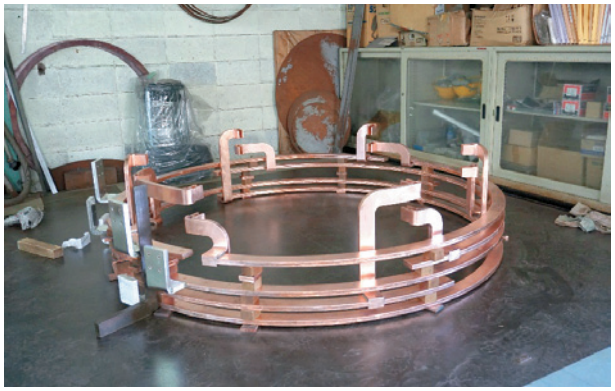
高圧盤。自社で設計、板金、組立、塗装、試験までを行うことが可能。

今では、配電盤の設計、板金加工、組立、塗装、試験を自社で一貫し、納品後の修理、メンテナンスまで行う体制を整えてあり、長年培ってきたノウハウを活かし、ユーザーの要望に応じた対応ができることも強みだそうです。

今後の展望として、板金加工部門のロボット、自動化を挙げられていました。

人手不足の時代なので、自動化を進めることで手作業での負担を減らしたい。そうして人の手に余裕が出きたら、仕事の幅を拡げていきたい。そうしてロボット化による働きやすい職場を作り、魅力的な職場にしたいとも語っておられました。

廣社長。
趣味は畑、登山だそう。



タービン発電機の銅部品。
フラットバーを横に曲げる機械もありました。

お忙しい中にも関わらず丁寧な応対をして頂き、とても話しやすく楽しい雰囲気の社長で、社員旅行や福利厚生のお話の際には、言葉の端々から社員さんを思う気持ちが伝わってきました。

とても広い塗装工場（平成29年より始動）

〈安永 翔太　㈱ヤスナガ〉

会社概要
社　名：株式会社共栄製作所
代表者：代表取締役社長　廣道夫
創　立：昭和56年３月
住　所：佐賀県西松浦郡有田町広瀬甲1009-4
ＴＥＬ：0955-46-4746
ＦＡＸ：0955-46-4440

板金図面検定試験合格おめでとうございます！

令和１年度の板金図面検定試験が６月 26 日、27 日の事前講習会を経て、９月７日（土）に過去最高の参加者数 106 名にて実施されました。１級 18 名、２級 32 名の合計 50 名の方が合格されました。

板金図面検定試験合格者

１級	佐藤　尚子	㈱ MFE HIMUKA
１級	佐藤　孝雄	玖珠中央発条工業㈱
１級	大賀　早織	㈱研工
１級	椎木　伸明	㈱伸栄金属製作所
１級	関口　　淳	㈱ダイチ
１級	竹野　寿美	㈱ダイチ
１級	川崎　　誠	ナサ工業㈱
１級	有馬　美菜	博多シヤリング工業㈱
１級	内田　りえ	博多シヤリング工業㈱
１級	福田　歩美	博多シヤリング工業㈱
１級	原田　佳奈	八祥産業㈱
１級	本田真貴子	ベルテクネ㈱
１級	金子　文隆	㈱ヤスナガ
１級	原田　　竣	㈱ヤスナガ
１級	福山　貴誠	㈱ヤスナガ
１級	安永　翔太	㈱ヤスナガ
１級	坂井　　祐	㈱脇山製作所
１級	中山　克司	㈱脇山製作所

２級	清水　良太	㈱ MFE HIMUKA
２級	金　　熙洛	北九州住設㈱
２級	佐藤　裕太	玖珠中央発条工業㈱
２級	池岡　誠太	㈱研工
２級	十塚　陽介	㈱研工
２級	瀧口　研二	㈱山水製作所
２級	西津　　孝	㈱山水製作所
２級	柴垣　拓史	㈱柴垣製作所
２級	奥田　良太	㈱伸栄金属製作所
２級	川口　尚也	㈱伸栄金属製作所
２級	田村　遼太	㈱伸栄金属製作所
２級	高橋　雄貴	大隆工業㈱
２級	鳥井田　清	大隆工業㈱
２級	古賀　智久	竹下産業株式会社
２級	石井　　誠	株式会社田名部製作所
２級	川畑　聖鳳	ナサ工業株式会社
２級	七田健太郎	株式会社ナダヨシ
２級	古澤　浩司	株式会社ナダヨシ
２級	中山　喜貴	博多シヤリング工業株式会社
２級	松本　和也	ベルテクネ株式会社
２級	河島　　生	株式会社まるわステンレス工業
２級	橋本　裕希	株式会社まるわステンレス工業
２級	林　　紘司	株式会社まるわステンレス工業
２級	島　　千鶴	株式会社ヤスナガ
２級	髙尾　　健	株式会社ヤスナガ
２級	只隈　浩子	株式会社ヤスナガ
２級	砥上　勝利	株式会社ヤスナガ
２級	伊東　敏彦	株式会社脇山製作所
２級	河上　幸也	株式会社脇山製作所
２級	坂本　秀樹	株式会社脇山製作所
２級	花摘　珠美	株式会社脇山製作所
２級	藤田　優子	株式会社脇山製作所

１級、２級で最高得点にて合格されたお二人にコメントを頂きました。

合格者コメント

１級合格
玖珠中央発条工業株式会社
佐藤　孝雄

今回、私自身50才を過ぎての挑戦で、板金図面検定試験の結果が合格で、正直、安心しました。初めての板金関連の試験であったので、多少不安もありましたが今までの仕事の経験や、今回の講習で学んだことが、結果につながりよかったと思います。

試験勉強を通し、日頃から使っている用語や記号の意味が再確認でき、大変有意義なものになりました。同時に知らないことも多く、まだまだ勉強不足だと思います。部下を指導するにあたっても、今回勉強したことを生かし、わかりやすい指導を心掛けていきたいと思っています。

今後は、今回のような講習、試験を活用し、自分と部下のスキルアップを図っていきます。

この様な機会をいただき感謝しますと共に、皆様も挑戦する事をお願いし、合格のコメントに変えさせていただきます。

２級合格
大隆工業株式会社
鳥井田　清

今回、合格の報せを聞き、落ちる事はないだろうと思っていましたが、安心しています。講習会ではテキストの多さに心配になりましたが、学習を始めてみると、日頃何気なく目にしている記号の意味や、材料の性質などを詳しく知ることが出来、大変勉強になりました。

普段帰宅してから勉強をする習慣が無かったので、最初は苦労しましたが、毎日10分、20分と時間を延ばしていき、なんとかやり遂げる事が出来ました。この試験で学んだ事を社内での教育に取り入れ、会社全体の能力の底上げを図りたいと思います。

石川県工場視察研修会

令和元年９月 13 日～ 14 日の１泊２日、14 社 19 名の参加で石川県への工場視察研修会が開催されました。今回は、石川県・福井県シートメタル工業会会長の㈱イコマ・メカニカル様と、幹事の㈱小林製作所様を視察してきました。

福岡空港に６：30 集合。空路で小松空港へ到着し、素敵なバスガイドさんの案内と共にいざ出発。

１社目の㈱小林製作所様は、金沢から約 20 ㎞の白山市（はくさんし）に位置し、自動化された生産設備とＩＴや職人の技術力を融合させることを目指して、主に半導体製造装置や工作機械向けの部品を製造している精密板金加工メーカーです。

創業は 1919 年、従業員数は 157 名、ＩＴ経営力大賞 2012 経済産業大臣賞を受賞。工場見学には年間約 500 人近く訪れるようです。

小林社長と小林専務により、自社製生産管理システムと、カメラ・ロボットシステムを駆使した究極のＩｏＴトレーサビリティシステムの説明を拝聴し、その後工場を案内して頂きました。

自社開発・販売まで行っている Sopak-C（ソパックシー）と呼ばれるカイゼンカメラを 250 台以上設置した工場は、150 台以上あるＰＣによる見える化を行って情報を共有・同期化し、バーチャルファクトリーを実現していました。

カメラによって得られた動画を主としたビッグデータを、独自のプログラミング・アルゴリズムにより軽量化することで、多くの会社が課題としている処理速度の高速化を可能にしていました。（大容量動画がサクサク動いて素晴らしい！）

画面にくぎ付けの参加者

工場での説明の様子

動画によって得られた様々な情報を、技術承継や品質管理など多岐にわたって有効活用することで、社員全体のマインドのＩｏＴ化も着実に進んでいることを実感しました。

エンジニア出身である小林社長の、長年にわたる試行錯誤の積み重ねが今に繋がっているのだと感じます。やはり継続は力なり、塵も積もれば山となる、ですね。

またＩＴ業界出身の小林専務は医療機器分野にも積極的に取り組んでおり、将来を見据えた親子の連携と相乗効果も、小林製作所の強みだと感じました。

生駒潤一社長による会社説明

昼食は、金沢市にある宝生寿しさんで美味しく頂きました。

２社目の㈱イコマ・メカニカル様は、金沢市打木町（うつぎまち）に本社工場（その他３工場、２倉庫）があり、パソコン周辺機器、ＯＡ機器の筐体、産業機械等の板金加工部品など、各種薄物板金や中厚板フレーム製品を主軸とした製造を行っています。

創業は昭和51年、従業員数は80名（内、女性は20名以上）、優秀板金製品技能フェアにおいても日刊工業新聞社賞（第19回）を受賞されています。

昨年より社長に就任された生駒潤一社長による会社説明を拝聴し、その後生駒寛会長もご同行頂きながら、じっくりと工場見学させて頂きました。

アマダ製を中心とした工作機械やマシニングセンタ、曲げ・溶接ロボットなどが効果的に配置され、人と機械が効率よく稼働している状況をうかがい知ることが出来ました。

ものづくりが社会貢献に繋がっていくという考えのもと、積極的な自動化設備の促進を行っており、その結果として省人化や技術承継にも繋がっているようです。

働き方改革にも継続的に取り組んでおり、特に女性に優しいイメージの工場を意識し、エアコン・トイレの充実や工場内でもピンクカラーを取り入れるなど、様々な工夫と気遣いを感じることが出来ました。（エレベーターと手摺はかわいいピンク色でした！）

イコマ・メカニカル様での集合写真

その後ホテルでチェックインを済ませ、金沢茶屋で行われる懇親会へと向かいます。

小林専務にも急遽参加頂き、のどぐろや海の幸を堪能しながらの愉しく美味しい酒宴となりました。その後の二次会・三次会は、各々満喫したようです。私も旧友と10年ぶりに再会し、ディープな金沢ナイトを体感してきました。

２日目は、私の寝坊＆遅刻から始まりました。お歴々の方々をバスにてお待たせしてしまい、

誠に申し訳ありませんでした！起こして頂いた柳田所長の「おはようございます。」という電話での優しい声と、植木社長から朝食替わりに頂いたチーズの味は、生涯忘れることはないでしょう…。

そんな九州シートメタル工業会の皆様の温かさに触れながら、いざ石川観光へ。

最初に向かった千里浜なぎさドライブウェイは、宝達志水町今浜から千里浜町に至る砂浜の延長約８㎞の観光道路で、一部海水浴場も兼ねています。日本で唯一合法的に、一般の自動車やバスで走ることが出来る道路だそうです。

当日はＮＨＫのチコちゃんや忍者などの砂像展示も行われており、ちょっぴり得した気分になりました。

次に、金沢文化を代表する茶屋街の一つであるひがし茶屋街を散策し、古都金沢の情緒にたっぷり浸った後、国の特別名勝である兼六園へと向かいます。

ひがし茶屋街を散策

兼六園での見学の様子

兼六園は、金沢市にある広さ11.7ｈａ（東京ドーム2.5個分）の日本庭園です。

17世紀中期、加賀藩によって金沢城の外郭に造営された藩庭を起源とする、江戸時代を代表する池泉回遊式庭園であり、後楽園、偕楽園と並んで日本三名園の一つです。

この日は快晴の土曜日ということもあり、比較的多くの観光客が来園していたようです。

少し暑さを感じながらも、丁寧な説明のガイドさんと一緒にのんびりとした散策を楽しみました。その後園内で昼食を済ませ、小松空港から帰路につきました。

今回の視察研修会は非常に中身が濃く、刺激的で充実した二日間となりました。

個人的に大変ご迷惑をおかけしましたが、初対面の方々も含め親睦を深められたことに、改めて感謝申し上げます。

来年も沢山の方々のご参加とご縁を楽しみにしています。

〈林 一徳　㈱まるわステンレス工業〉

プロジェクト管理技法の向上セミナー

9月11日（水）講師　鈴木淳一氏　アマダ九州営業所２Ｆセミナールームにて会員企業の管理職の方16名を対象に行われました。

プロジェクト管理技法を理解することで、仕事の段取り力を高めるとともに、的確な業務指示を行うための手法を習得することがねらいです。

午前中はプロジェクトの進め方ということで、プロジェクト活動の定義、リーダーの決定と求められるもの、チーム編成と役割、有効に機能させるための基本要件を座学にて学びました。個人的に響いたのは「どんなゴールが必要かを決めるのが経営者で、どうやってそのゴールを達成するのかがプロジェクト」「余裕期間は全タスク終了後に設定しないと、各タスクごとに食いつぶされて遅れが慢性化しやすい」というところでした。

午後からは３つに分かれてのチーム討議演習で、課題「海で遭難」を討議し、判断ミスを最小にするために何が大事かを学びました。そして最後に「新工場計画　企画プロジェクト」という課題で討議をして、背景と目的、日程計画・主タスクをガントチャートで記述、細分化項目の詳細タスク検討事項の一つを作成までやり上げました。

プロジェクト活動は通常業務の片手間では難しい、できる限りメインとしての時間を確保してリーダーも育て、メンバーも育て、達成感・成長感を味わうことを喜びにできるチーム作りが大切だということがわかりました。

他の会社の方と一つのことを深く話し合うのはとてもいい機会でした。初めてのセミナーだったので来年以降はブラッシュアップされて更に良いものとなると思われます。

ぜひ、ご受講をお勧め致します。

グループ内討議の様子

討議内容発表の様子

〈植木 剛彦　㈱ナダヨシ〉

問題解決（不良削減）実践訓練研修会

～TOTO 株式会社様　工場見学会～

令和元年 10 月 10 日、「問題解決（不良削減）」研修会で、TOTO 株式会社様の TOTO ミュージアム、TOTO 株式会社小倉第二工場の工場視察へ参加させて頂きました。

先ず始めに小倉北区中島にある TOTO ミュージアムを訪問しました。
スライドを見ながら会社概要の説明を受け、白を基調とした洗練されたデザインの館内では、東洋陶器の創立から現在の「TOTO」に至るまでの歴史が詳細に展示されていました。
ミュージアムでは、近代化産業遺産、機械遺産、建築設備技術遺産に認定された製品が所蔵されている一方で、便座ソファーや便座バイクなども展示しており、重厚さと遊び心のある飽きさせない内容になっていました。

社是である「愛業至誠」。創業者たちによって築かれたものづくりへの厳しくも熱い想いは、現在も変わることなく受け継がれていることを実感しました。

その後、小倉南区朽網（くさみ）にある小倉第二工場を見学しました。

当工場は、2013 年に製造部門が分社化されて設立された TOTO アクアテクノ株式会社の本社工場として、TOTO グループの水栓金具や福祉商品・電気温水器等の約 7 割を生産しています。

海外デザイン賞を受賞した混合水栓シリーズなどの製品も、当工場で製造しているそうです。
約 1700 名程が働いている工場内は、５Ｓや改善活動が徹底されており、①鋳造 ②機械 ③研磨 ④メッキ ⑤組立の各ラインを見学させて頂きました。

自動化やロボット化を推進しつつ、熟練工が行っている５％ほどの匠の技術が必要な加工については、現在のスペシャリスト制度をより充実させ、技能の向上や伝承を図っていきたいとのことでした。

その後の質疑応答でも丁寧な説明をして頂き、フレキシブルな改善活動や密なコミュニケーションによって問題解決が行われている現場の状況を間近で感じることができ、非常に有意義な視察研修会となりました。

私は今回飛び入りで参加させて頂きましたが、改めて TOTO 様の素晴らしさを実感する貴重な機会となりました。また、普段接する機会のない研修メンバーとのご縁にも感謝しています。そして、事務局の皆様、お疲れ様でした。

これからも素敵な TOTO 便器で、楽しくリラックスしたトイレタイムを過ごしたいと思います！

説明を受ける参加者

ミュージアムでの集合写真

〈林 一徳　㈱まるわステンレス工業〉

パワーアップ研修会

【研修対象者】工業会会員企業の作業現場のリーダークラスの中堅社員の方
【研 修 内 容】５日間
・メイン研修２日間：リーダーの役割及び部下の指導・リーダーシップを活かして職場改善のノウハウを習得する。
・フォロー教育２日間：職場での繰り返し作業の問題の解消方法について各種事例を踏まえてフォローを行い、成果発表会に向けてプレ発表を行い、アドバイスを受ける。
・各々が定めたテーマについての成果発表（１日）
【研修参加者】８社 15 名

成果発表会　開催日：令和１年 10 月 18 日（金）

社　　名	氏　　名	テーマ
ベルテクネ　株式会社	児島　勇樹	プレス作業の削減
ナサ工業　株式会社	小川　太道	お客様と共に“改善連鎖”
株式会社　伸栄金属製作所	森下　恵介	プリマック周辺の改善
株式会社　まるわステンレス工業	原田　孝久	溶接加工の動作改善
株式会社　三松	増田　貴一	曲げ可否の判断作業の改善
出口工業　株式会社	稲吉　　巧	スポット作業効率向上を目指した改善案
株式会社　伸栄金属製作所	江藤　　毅	タレパン作業における金型交換のスピードアップ
ナサ工業　株式会社	今泉　龍也	粉体塗装作業改善
博多シヤリング工業　株式会社	入家　裕章	工程改善による作業時間短縮
株式会社　まるわステンレス工業	林　　紘司	ブランク加工作業時の段取り改善
ナサ工業　株式会社	仲田　好廣	外注先準備改善
出口工業　株式会社	八戸　貴幸	曲げ作業効率向上を目指した改善案
ベルテクネ　株式会社	梶原　拓也	不良による無駄削減
株式会社　三松	川元　涼平	材料準備の時間短縮改善

成果発表会にて最優秀賞を受賞されましたナサ工業株式会社　小川太道様からコメントを頂きました。

最優秀賞　ナサ工業株式会社　小川　太道

〈内容のポイント〉

営業部門での改善では内務・事務などに着目してしまいそうですが、営業部門が一番改善効果を出せるポイントはフロントだと考え、３つの重点ポイントとして改善内容を進めていきました。「自工程 UP、他工程 UP・お客様へ更なる価値の提供」この３つの成果を満たすために改善を行いながら“お客様の問題を解決することが自分たちの問題解決にもなる”と気付き、お客様の立場となり問題解決を行う事に努めました。

〈社内効果〉

自工程・他工程での問題が見えた事、お客様の課題を知る事が出来たことで、改善から更なるサービスを出来たことは良かったです。間接業務（発注～発送～客先受入れ）の回数は日々減ってきているので、効果は当初の見込みに近づいてきております。

この改善によりお客様からの信頼も上がり、担当営業へ客先からの相談も増えてきており、まさに　お客様と共に“改善連鎖”で Win ＝ Win な関係性づくりが出来たと感じております。

モノづくりフェア 2019 開催報告

九州シートメタル工業会において、2014 年より事業計画の新規取り組みの一つとして公共展への出展を継続してきました。2019 年は新しい試みとして、高校生や大学生をターゲットとした企業アピールの場として板金加工の魅力をＰＲしました。フェアには連日、約 6,000 人もの人が訪れ、九州シートメタル工業会のブースも盛況でした。

たくさんの高校生が訪れました

女子高生にも大人気！薔薇花束

〈**出展データ**〉
展示会名：モノづくりフェア 2019
開 催 日：10 月 16 日（水）～ 18 日（金）3 日間
開催時間：10 時～ 17 時（最終日は 16 時まで）
開催場所：マリンメッセ福岡（福岡市博多区沖浜町）
展示内容：優秀板金製品技能フェア入賞作品
①厚生労働大臣賞　「保育園用デザインシンク」・・・㈱ナダヨシ
②組立品の部・審査委員会特別賞　「御神輿」・・・ナサ工業㈱
③組立品の部・グランプリ　「SAKURA TUBE」・・・㈱田名部製作所
来場者数：18,844 人（昨年：15,757 人）

10 月 16 日（水）	晴　れ	5,932 人（昨年：	曇　り　5,006 人）
10 月 17 日（木）	曇りのち雨	6,136 人（昨年：	曇　り　5,470 人）
10 月 18 日（金）	雨	6,776 人（昨年：	雨のち曇り　5,281 人）

名刺交換枚数：

10 月 16 日（水）	1 日目	16 枚（昨年：16 枚）	
10 月 17 日（木）	2 日目	17 枚（昨年：26 枚）	
10 月 18 日（金）	3 日目	23 枚（昨年：16 枚）	
	3 日間トータル	56 枚（昨年：58 枚）	

企業価値を上げるための財務管理セミナー

11月6日（水）講師　尾又啓介氏　アマダ九州営業所２Ｆセミナールームにて会員企業の管理職・経理職の方８名を対象に行われました。

似たようなセミナーの受講経験もあり、聞いた言葉もありますが実際に説明を求められると的確に説明できる知識もありませんでしたが、中小企業診断士の尾又先生のわかりやすい説明や計算問題を解きながら講義して頂きました。

午前中はテキストの公式を用いながら進み、このテキストを手に取り決算書等に向かえば自社の簡単な部分の成績、状況は理解できると思われるものです。

テキスト中には項目ごとに基準ラインが示されており、一般的にですが、この値に達していれば会社は健全であるとされたものであり、日々の業務に役立つものでした。

午後には「架空会社Ａ社が客先Ｂ社からの依存度を下げ、３年後に５％の利益を確保する」の設定でＡ社の財務内容の資料をもとに議論しました。

私たちのチームはいろいろな設定、状況、方法があるものの、とりあえずＡ社の３年後の売り上げを10％上げ、５％の利益を確保すると考えました。その中で確保できてなかった最低限の利益を確保することにより従業員などの労務費、経費も標準の値にすることができ、作業効率を上げるためと外注費削減のための新規設備導入、減価償却の上昇、経費削減のための無駄をなくし、物を大事にするなどの社員教育など多方面から考えが上がりました。

チームで討議した内容の説明

発表の様子

毎回のことですが講義のあとは自身の力不足を痛感します。今回もチームの方たちに引っ張ってもらい設定を満たすことができました。今回の最後は正直私自身、お地蔵さん状態でついていけなかったのが現状です。しかし時間が経つとセミナーの内容は日々の業務にリアルに直結でき大いに役立つものです。私自身はどちらかと言えば毎日毎日小さなことからコツコツと積み重ねるタイプですが、何年後かどうするゾ！と公表し、その目標に自身が頭、体、行動を合わせていく大切さを感じました。この経験を業務に活かしていきます。

〈柴垣 拓史　㈱柴垣製作所〉

板金い・ろ・は研修　工場見学

今年度も、当工業会オリジナルセミナーの一つである「板金い・ろ・は研修」を、以下の内容で実施しました。

【研修対象者】工業会会員企業の新入社員・入社２～３年以内の社員

【研 修 内 容】５日間

・メイン研修２日間：社会人としての作法や、学生と社会人との違い、社会の中での板金業界の位置などの説明を受けた。

・フォロー研修２日間：メイン研修を経て上司からの評価やアドバイスをもらい、自分を見つめ直す

・工場視察（１日）：他社を見る機会が少ない受講生に受講者の会社２社(㈱三松様，ナサ工業㈱）を見学しました。

【研修参加者】６社 12 名

11 月 25 日に工場視察を行いました。工場視察に参加した弊社社員達の感想は...

・他社様を見せていだき、弊社にはない加工設備や台車運用などを知ることができ大変勉強になりました。また、きちんと整理整頓されていて安全通路も確保されており、弊社でも実践していきたいと思いました。

・視察したことで、今まで気づけなかった課題点を見つける事ができました。

・自社の説明をするにあたり、会社の事，自分の所属する部署の事，他の部署の事，製品の事，お客様の事などについて、詳しく知る良い機会となりました。

・自社の説明や案内を受講した仲間と作り上げる事が出来て良い経験になりました。

・自社説明はしっかり準備したつもりでいたが、実際はうまくいかなかった。他社様と比べて多くの課題がみつかった。

と、研修に送り出した私達にも自己評価がおきるくらい、しっかりと学んでくれました。特に、工場見学の受入側となり説明や案内を経験することは、期待以上の成長につながっているようです。

来年度も５月に本研修実施予定です。多くの会員様の参加をお待ちしております。

ナサ工業見学中

三松様見学中

〈長澤 敏光　ナサ工業㈱〉

シートメタル工業会親睦ゴルフコンペ

令和元年　11 月 28 日　福岡県の小郡カンツリー倶楽部にて毎年恒例の親睦ゴルフコンペが行われました。

集合写真

スタート前の様子

遠くは、宮崎、長崎より参加お疲れ様です。

あいにくの曇り空で、雨が心配されたのですが、そこは皆さんの日頃の行いの成果で乗り越えました。入念なウオーミングアップも終わり、いよいよティアップです。

皆さんのナイスショット？で熱いバトルが始まりました。（１番熱かったのはＤ工業夫妻？）仕事のストレスを一時忘れ、ゴルフを楽しみました。（別のストレスが…）フロントナインが終わり昼食タイム、美味しい食事を楽しみながら、お互いにスコアを聞いて和気藹藹に話しが弾みます。これもゴルフの楽しみの一つですね。いざ、勝負ののバックナインへ！白熱した戦いも終わり、いざ成績発表！

優勝は株式会社稲富プレス工業所の稲冨社長でした。おめでとうございます。

優勝　　稲冨社長
準優勝　長澤社長
３位　　出口社長

ベスグロは　安永社長と出口常務が同点でした。（流石です）
最後に段取りしてくださいました鶴元社長ありがとうございました。
また、ご参加いただきました皆様お疲れさまでした。
次回からは企画推進委員会からも参加者が増えるといいですね！

〈山本 大地　㈱ダイチ〉

優勝した稲冨社長

2019 全国若手経営者ジョイントミーティングに参加して

11 月 29 日にアマダ FORUM246 にて、全国若手経営者ジョイントミーティングが開催されました。九州からは㈱まるわステンレス工業の林社長、私の 2 名で参加させていただきました。

当日は 12 時に会場に到着。板金技能フェアの投票期間中とのことで、まずは投票。

どの作品もアイデアと技術の融合が高いレベルで行われていて、板金加工でのモノづくりの可能性を感じました。

厳正な審査による投票を終え、13 時からのジョイントミーティングへ。今回は 31 社、33 名の参加。5～6 名ずつ 6 グループに分かれて着席することになっていました。

まずは講師の尾又先生による基調セミナー「経営者が身につけていただきたい経営スキルについて」を 1 時間程度受講。

その後、各グループでディスカッション。

架空の会社を例題とし、1. 現状の良い点、2. 改善すべき点、3. 変革の方向性、4. 具体的な変革アクションの 4 つを話し合い、グループで意見をまとめ、最後に全員の前で発表を行う、というものでした。

意見を集約し発表資料をまとめる
写真中央（ノージャケット）が筆者

それぞれ、年単位でのスケジュールを立てたグループ、目標売上・利益の数字を明確にしたグループ、強いビジョンで大きな夢を描いたグループなどなど特色があり、どのグループも大変面白くまとまっていました。

そんななか、私が所属するＡグループは意見をまとめるのに、難航しました。各メンバーのこうすべきだ！という思いが強く（私も含めてですが）、話がなかなか折り合わない。

グループ内の役割（私がなんとなく書記に任命される）が固まってきたころには残り時間わずか、とにかく発表する担当割りだけ決めて、いざ発表―。

メンバーの中に、偶然にも例題の架空会社と似た境遇の会社のＨ社長がいたことにより、その方の実体験を元に発表して頂き、なんとか発表を終了。

質疑応答では、Ａグループの難航を見抜いていた林社長から優しさ溢れるツッコミを頂き、なんとか和やかな雰囲気で終えることができました。

発表の際に頑張って頂いた前出のＨ社長は、「普段使わないところの脳を使った気がする」とおっしゃっていました。

質問をする林社長。写真左は尾又先生

懇親会での自己紹介の様子

私も「要点を整理して分かり易く記入する」というスキルの低さや「個性の強い方達の意見をうまくまとめる」といった自分自身の能力の低さを再発見、今後の課題が見つかりました。

その後の懇親会では、ディスカッション時のグループ以外の参加者とも交流、全国の同業者と知り合うことができ、大変有意義な時間となりました。

この度はこのような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

〈安永 翔太　㈱ヤスナガ〉

問題解決（不良削減）実践訓練研修会

【研修対象者】工業会会員企業の作業現場のリーダー、管理・監督者、中堅社員以上の方
【研 修 内 容】６日間
・講習２日間：ＱＣツールの活用方法を学び、不良を削減する為の原因追及に活用する。
・TOTO ㈱様工場視察
・フォロー教育２日間：不良の集計を取り、テーマを選定し、不良を削減する過程を成果発表会に向けて、相互啓発を行いながら纏めていく。
・テーマについて成果発表（１日）
【研修参加者】６社９名

「問題解決（不良削減）実践訓練研修会」は、本年度で３回目の開催となりました。
６社９名で始まった研修会でしたが､仕事の都合などで成果発表会は５社７名で行いました。苦労を重ねて完成した成果発表会の内容はどれも素晴らしいものでした。成果発表会では、参加者・見学に来た上司の方達の採点を集計して順位付けを行っています。

成果発表会　　令和１年 12 月 19 日（水）　会場：JR 博多シティ 10 階会議室

発表順	社　　名	氏　　名	テーマ
①	ベルテクネ　株式会社	桑崎　　学	ポカミス削減
②	大隆工業　株式会社	廣重　　卓	作業指示書運用ミスを減らす為には
③	株式会社　ヤスナガ	大曲　　繁	切断不良の削減
④	株式会社　田名部製作所	山田　隆弘	曲げ工程の寸法不良削減
⑤	リョーユウ工業　株式会社	諸石　　憲	員数不足の削減
⑥	ベルテクネ　株式会社	梶原　純一	左右・裏表間違いの不良削減
⑦	大隆工業　株式会社	久冨健太郎	曲げ不良改善活動

最優秀賞　株式会社ヤスナガ　　大曲　繁様
優 秀 賞　大隆工業株式会社　　廣重　卓様
敢 闘 賞　リョーユウ工業株式会社　諸石　憲様

最優秀賞を獲得された株式会社ヤスナガの大曲　繁様からコメントを頂いています。

株式会社ヤスナガ　大曲　繁

テーマ：切断不良の削減

今回、実践訓練研修として、レーザー・複合機の「切断不良の削減」を題材に取り組みました。今回の不良対策はレーザー条件を触らず維持していこうというもので、現状把握、要因の解析、対策検討と進めていきました。

社内には「レーザーの切断面に異常がでたらまずレーザー条件を変更する」という暗黙の了解のようなものがあり、社歴が長い社員ほどその傾向がありました。そのような考えを持つレーザー・複合機担当者を納得させることのできる事実を提示し、いかに理解して作業に取り組んでもらえるかに注力しました。

社内成果としては、発表後も含めると７ヶ月の間、「レーザー条件は触らない」というルールは続いています。

それにより条件調整に費やす時間が無くなり、切断時の異常も減ってきています。

社内の取組みとして「レーザー条件は、触るものではなく維持するもの」ということを定着させ、条件調整時間のゼロ化を目指し、付加価値の高いモノづくりをしていきたいと思っています。

九州シートメタル工業会　賀詞交歓会

令和２年１月24日（金曜日）に、福岡市博多区は『WITH　THE　STYLE　FUKUOKA』にて会員企業53社94名の出席により季節外れの温かさの中、元号が令和になって初の九州シートメタル工業会賀詞交歓会が行われました。

初めに安岡会長より昨今の景気状況、アメリカ・中国との関係などに触れられ、どんな環境の変化にもびくともしない企業体質を強化するために、工業会の色々な活動に積極的に参加してほしいとおっしゃられました。

続いて、来賓の㈱アマダ西部支店支店長畠様よりご祝辞をいただき、鶴元総務部会部会長の御発声により乾杯の音頭が取られました。

安岡会長のご挨拶

途中、昨年入会されました新会員さん（玖珠中央発条工業㈱様・㈱クニナリ様・工藤電設㈱様）の御紹介があり、たくさんの祝電も披露されました。

新会員の玖珠中央発条工業・坂本社長

新会員の工藤電設・工藤専務

歓談の様子

一本締め

宴もたけなわ、最後は田原副会長の一本締めにて中締めとなりました。
本年も多数の御参加、誠にありがとうございました。

〈藤 雄一朗　㈱三藤製作所〉

今回の表紙

北海道の南部に位置する羊蹄山。標高1,898mの成層火山で、綺麗な円錐の形をしています。

富士山によく似たその整った姿から、蝦夷富士（えぞふじ）とも呼ばれ、各地にある郷土富士の一つとなっており、日本百名山にも選定されています。山頂には、直径700m、深さ200mの火口があるみたいで、五つの町や村の境をなしているようです。羊蹄山は登山をすることができ、倶知安（くっちゃん）コース、京極（きょうごく）コース、真狩（まっかり）コース、喜茂別（きもべつ）コースの4種類で登れ、どのコースも4時間から6時間程度かかるようです。いつか、羊蹄山を登って滑り降りたいと思いながら、近隣の尻別岳（しりべつだけ）にあるルスツリゾートでスノーボードを楽しんでおります。この写真も、ルスツスキー場にある貫気別山（ぬきべつやま）から撮った写真です。いつもは雲がかかっていてなかなか綺麗に撮れないのですが、この時は綺麗に晴れていたので、奇跡のショットです。

〈林 高英　日新産工㈱〉

九州シートメタル工業会　今後の予定

日　程	予　定
4/16（木）	令和2年度第1回役員会・第23回定期総会
4/21（火）・4/22（水）	パワーアップ研修会
5/12（火）・5/13（水）	板金いろは研修

編 集 後 記

この前令和になって初めてのお正月を迎えましたが、早くも２ヶ月が過ぎようとしております。３月は去るとはいうものの、今年は暖冬ですしあっという間に春がやって来そうです。春が来るとＧＷが、ＧＷが過ぎるとお盆が、お盆が過ぎると年末年始がすぐにやって来ると感じるのは、年のせいでしょうか？

７月に開会する東京オリンピックもいよいよ近付いてまいりました。その影響でプロ野球も例年より早く開幕します。当工業会もそれに負けないぐらいに、４月 16 日（木）の総会を始め、今年も盛りだくさんにイベントを予定しております。皆様奮ってご参加の程、お願い申し上げます。

第 56 号を発刊するにあたりまして、ご協力いただきました方々にこの場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました。

〈白水 靖久　㈱新栄製作所〉

「職人のこだわり」「マイブーム」「トピックス」は、休載させていただきます。ご了承ください。

シートメタル 九州　第 56 号
（九州シートメタル工業会会報）

発行日　令和２年２月 25 日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　株式会社アマダ 九州営業所
〒 816-0912　福岡県大野城市御笠川 1-9-4
TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会　ホームページ　http://www/kyushu-sma.gr.jp
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。